

安全上のご注意

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

本製品を使用する際は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。

本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、故障時の保障対象外となります。

本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置 / 保管してください。
触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。

火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V（50/60Hz）以外のコンセントを使用しないでください。

本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。
ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。
傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因となります。

電源ケーブル（AC アダプター）を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。

電源ケーブル（AC アダプター）を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

本製品やコンピューター本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物や加熱器具を置いたり、加熱しないでください。

本製品やコンピューター本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

また、弊社Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバーソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

ヤノ販売株式会社 カスタマーサポート

住所：〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983

電話による受付時間：月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前 9：30 ～ 12：00 / 午後 1：00 ～ 5：00

Web ： www.yano-sl.co.jp

E-mail ： info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303(営業) Fax. 078-646-8982
E-mail: info@yano-sl.co.jp Web: www.yano-sl.co.jp

- 8 -

548022P0540

SafeTANK G2 GR5630-SB3+ はじめにお読みください

このたびは、RAIDON 社製 eSATA・USB 対応 RAID 装置 **SafeTank G2** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

構成 品 パッケージ内容

製品本体パッケージ内容物	☐ 製品本体 ☐ ロックキー x4 ☐ eSATA ケーブル ☐ USB3.0 ケーブル	☐ 電源ケーブル ☐ 保証書（本体） ☐ 製品シリアルシール
ドライブパッケージ内容物	☐ HD ドライブ（ホルダー付）× 4 （スベードライブモデルの場合× 5） ☐ セットアップマニュアル（本紙）	☐ 保証書（HD ドライブ） ☐ ユーザー登録カード ☐ 製品シリアルシール

各部の名称とはたらき

前面

① ディスクステータスランプ	ハードディスクの動作状況を表示します。詳細は本紙 P6 をご参照ください。
② レバー	ドライブホルダーを取り出すときに手前に引きます。
③ レバーロック解除ボタン	ロックキーで開錠後、ボタンを押すとレバーが開きます。
④ 本体ステータスランプ	本製品に異常が発生すると点灯します。詳細は本紙 P6 をご参照ください。
⑤ 電源ランプ	本製品に電源が投入されると青色に点灯します。
⑥ ◀ ボタン（左向き）	本製品の設定を行う場合は、◀ ボタン / ▶ ボタンで設定項目を選択します。
⑦ ▶ ボタン（右向き）	前のメニューに戻る時にこのボタンを押します。
⑧ Esc ボタン	選択した値を確定する時にこのボタンを押します。
⑨ Enter ボタン	本製品の状態を表示します。
⑩ 液晶パネル	

背面

① 消音ボタン	アラーム音を一時的に止めるボタンです。
② USB3.0 ポート	USB3.0/2.0 用コネクタです。
③ eSATA ポート	eSATA 用コネクタです。
④ 背面ファン	冷却用のファンです。
⑤ 電源スイッチ	本製品の電源を on/off します。[] 側に倒すと on に、[○] 側に倒すと off になります。
⑥ 電源コネクタ	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
⑦ ケンジントン社ケーブルロック用セキュリティスロット	盗難防止用のケーブルを取り付けることで本製品を盗難から防止できます。ケンジントンセキュリティスロットの規格に準じた盗難防止キーをご使用ください。

本製品の電源を入れる前に

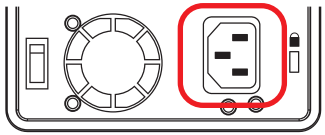
本製品は、輸送時の衝撃による損傷等を考慮し、精密機械であるハードディスク・ドライブを別梱包にしています。

ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で、上から数字順**にハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取り付けてください。

- 1 -

接続方法

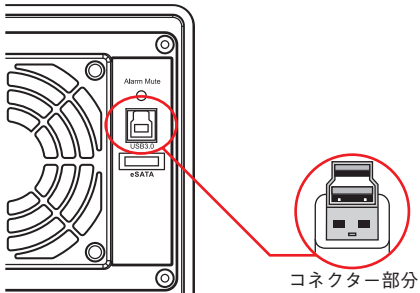
1. 本製品の電源コネクタに付属の電源ケーブルをしっかりと接続します。



2. 本製品を Mac / Windows コンピューターと接続します。

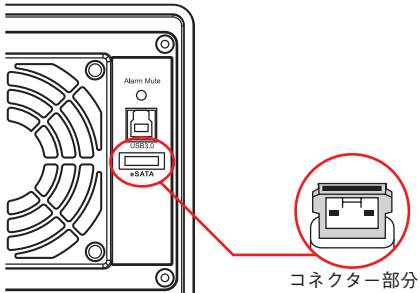
● USB で接続する場合

USB3.0ケーブルのコネクタ形状と差し込む向きを確認し、本製品の USB ポートにしっかりと接続します。



● eSATA で接続する場合

eSATA ケーブルのコネクタの形状と差し込む向きを確認し、本製品の eSATA ポートにしっかりと接続します。



4. 電源スイッチを ON にし、Mac / Windows コンピューターを起動します。

5. 本製品を初期化します。(Mac の場合)

本製品を Mac OS X でお使いの場合は、USB、eSATA のいずれの接続でも「ディスクユーティリティ」を使って、初期化を行います。

ディスクの初期化方法

本製品を Mac に接続すると、「セットしたディスクは、このコンピュータで読み取れないディスクでした。」というダイアログが表示されますので [初期化] をクリックして「ディスクユーティリティ」を起動します。

※ダイアログが表示されない場合は、システム起動ディスク (通常は「Macintosh HD」) から「アプリケーション」の中の「ユーティリティ」にある「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。

ディスクのリスト表示の中から、初期化するディスク (ドライブ) を選びます。

※すでにデータが書き込まれたディスク (ドライブ) に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻せませんので、ご注意ください。

ドライブホルダーの交換と復旧作業

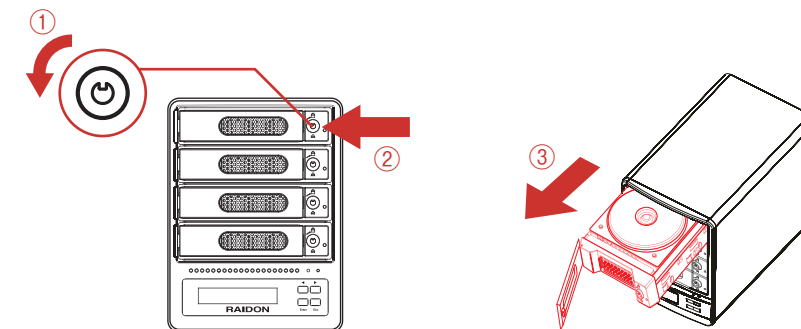
●作業を始める前に必ずお読みください

- ・事前に必ずデータのバックアップを行ってください。
- ・一時的にアラーム音を止める場合は本製品背面の消音ボタンを押してください。
- ・電源が入っていない状態でスペアドライブの交換をすると、エラーが発生します。スペアドライブの交換は必ず電源が入った状態で行ってください。
- ・自動復旧動作が完了するまで、3 ～ 24 時間程度を要します。(容量によって異なります)
- ・復旧動作中の本製品に対しても読み出しや書き込みを行えますが、正常時よりも読み書きに時間がかかります。また、復旧が完了するまでの時間が長くなりますのでご注意ください。

1. 障害が発生したドライブホルダーを取り外します。

ロックキーをレバーロック解除ボタンに差し込み、開錠します。

レバーロック解除ボタンを押し、レバーを持ってドライブホルダー引き出します。



2. 交換用ドライブホルダーをスロットに差し込みます。均等に力を入れて、奥に押し込んだあと、レバーを元の位置に戻します (カチッという音がします)。

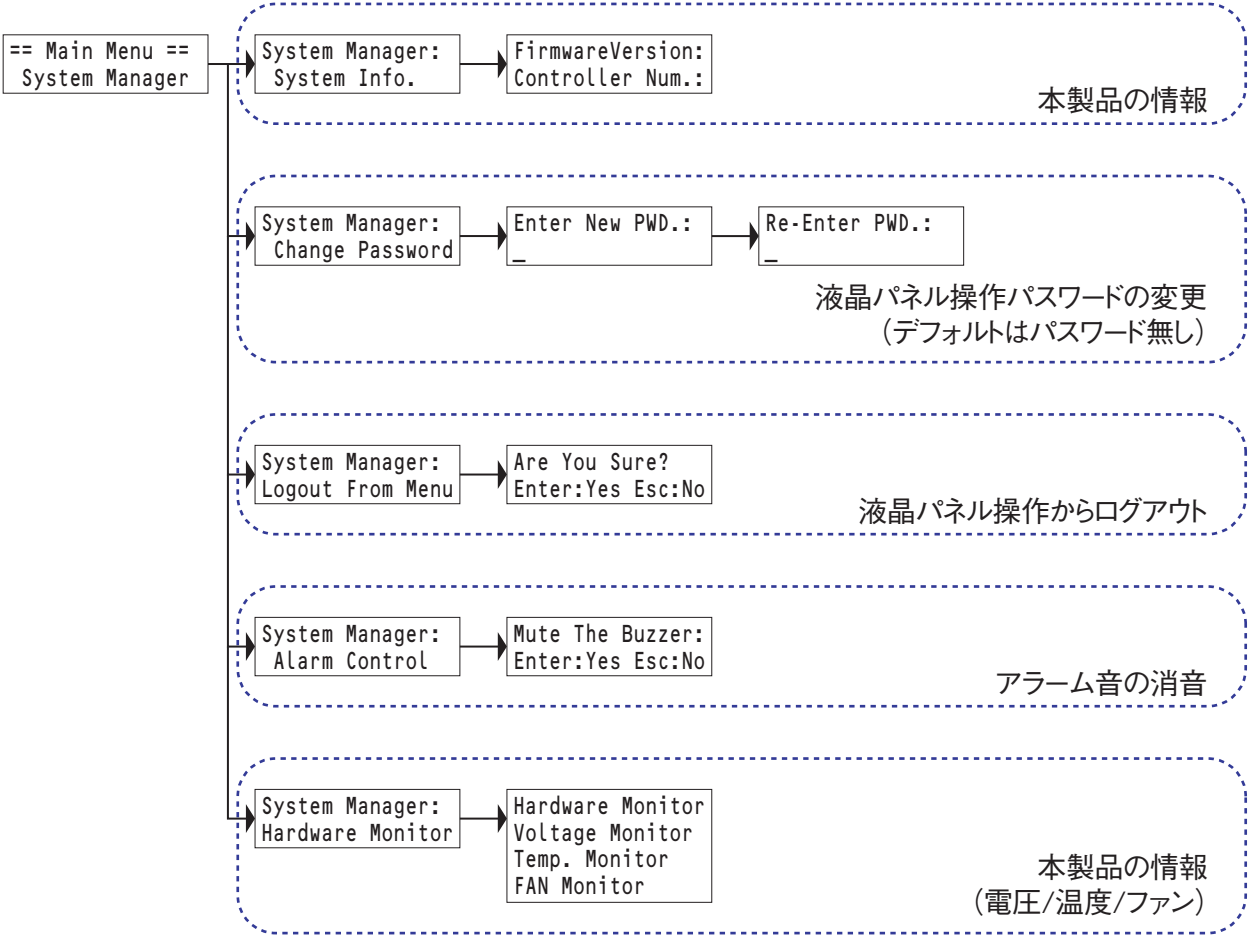
3. ディスクステータスランプがリビルド中の色に変わり、復旧作業が開始されます。

ロックキーをレバーロック解除ボタンに差し込み、施錠します。

一定時間が経過すると、復旧動作が完了します。

データ保証について

本製品の中に作成、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合、弊社は理由の如何にかかわらずデータの保証をいたしかねます。必ずデータのバックアップを行ってください。

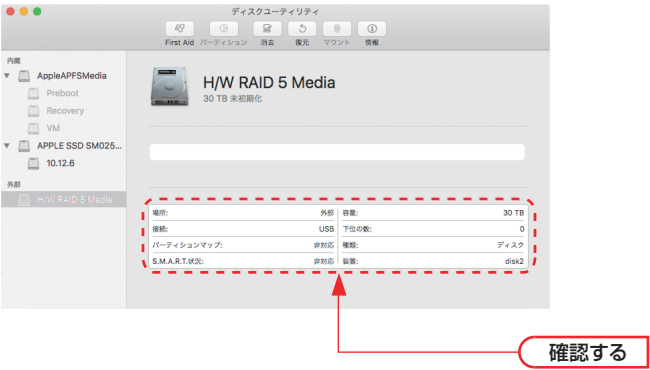


ディスクステータスランプ / 本体ステータスランプの表示

ディスクや本体の状態によってステータスランプの表示パターンが変わります。
トラブルが発生した場合は、以下の表を参照してエラーの内容を確認してください。

ステータス	電源ランプ	本体ステータスランプ	ディスクステータスランプ	アラーム音
電源 ON	青（点灯）	消灯	青（点滅）→ 青（点灯）	ディスク有りの場合、起動完了時に 1 回
ディスクなし	青（点灯）	消灯	消灯	
ディスクエラー	青（点灯）	消灯	赤（点灯）	
RAID エラー	青（点灯）	消灯	赤（点灯）	4 回連続
ディスクアイドル時	青（点灯）	消灯	青（点灯）	
フォーマット中	青（点灯）	消灯	青（点滅）	
アクセス時	青（点灯）	消灯	青（点滅）	
リビルド中 - 正常ディスク	青（点灯）	消灯	青（点滅）	
リビルド中 - 交換したディスク	青（点灯）	消灯	青と紫（点滅）	
背面ファンのエラー	青（点灯）	赤（点灯） （信号非検出）	青（点灯）	4 回連続
温度ステータスのエラー	青（点灯）	赤（点灯） （55℃超過）	青（点灯）	4 回連続

図例:RAID5、USB接続の場合



USB接続の場合

・ウィンドウ上部にある【ディスクアイコンの右側】に「H/W xxx Media」、下部にある【接続】に「USB」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【容量】で確認します。
※ xxx には RAID レベルが表示されます。

< 注意 >
MacPro の一部のモデル (Late 2013 以降) + MacOS 10.11 以降の環境では USB3.0 接続時にマウントされないことがあります。その際、両方の電源が ON かつ USB3.0 ケーブルで接続された状態で HOT スタートもしくは COLD スタートを行うとマウントします。

- <HOT スタート手順>
- ① 本製品の電源を ON にする。
 - ② 起動完了した MacPro に本製品を USB3.0 ケーブルで接続する。
 - ③ MacPro を再起動する。
- <COLD スタート手順>
- ① MacPro をシャットダウンする。
 - ② MacPro に本製品を USB3.0 ケーブルで接続する。
 - ③ 本製品の電源を ON にする。
 - ④ 本製品から「ビッ」という音がした後に MacPro の電源を ON にする。

eSATA接続の場合

・ウィンドウ上部にある【ディスクアイコンの右側】に「H/W xxx Media」、下部にある【接続】に「SCSI」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を【容量】で確認します。
※ xxx には RAID レベルが表示されます。



- ① 【消去】をクリックします。
- ② 【フォーマット】を選び、必要に応じて【名前】を入力します。
- ③ 【方式】が「GUID パーティションマップ」になっていることを確認します。「GUID パーティションマップ以外が選択されている場合、「GUID パーティションマップ」を選択します。
- ④ 初期化を実行してよければ、【消去】をクリックします。

6. デスクトップにドライブアイコンが表示されます。



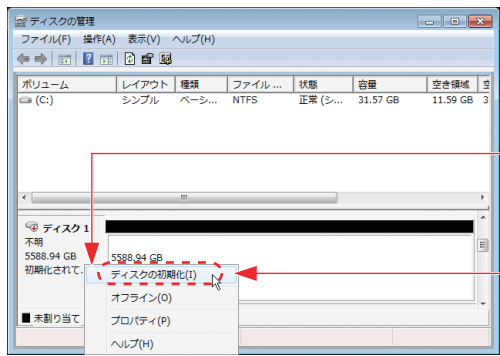
※ Mac OS X 10.10 以前では接続方法によってアイコンが異なります。
USB 接続時 eSATA 接続時



7. 「ディスクユーティリティ」を終了します。

8. 本製品を初期化します。(Windows の場合)

ディスクの初期化方法

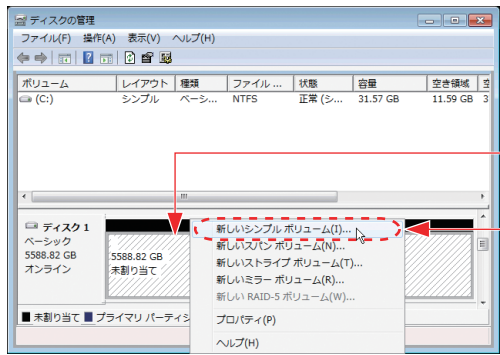


[管理ツール]の[コンピュータの管理]を起動します。
[管理ツール]は以下の場所にあります。
Windows Vista : [スタート]ボタン → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス]
Windows 7 : [スタート]ボタン → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]
Windows 8 : [設定]チャーム → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]
Windows 10 : [デスクトップ画面左下の【ここに入力して検索】欄に【コンピューターの管理】と入力し、その上部の検索結果に表示される【コンピューターの管理】をクリックします。

「記憶域」の「ディスクの管理」を選択します。
本製品のディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、メニューの「ディスクの初期化」を選択します。

<ディスクの初期化>画面が表示されますので、初期化するディスクにチェックを入れ、GPT(GUID パーティションテーブル)を選択して[OK]をクリックします。

ボリュームの作成方法



パーティションを作成するディスクのパーティションのエリアマップを右クリックし、メニューの『新しいシンプルボリューム』を選択します。

<新しいシンプルボリューム ウィザード>画面が表示されますので、画面の表示に沿って操作してください。通常は設定を変更する必要はありません。
※ Windows Vista で 16TB 以上のボリュームをフォーマットする場合は、アロケーションユニットサイズを「16K」に指定してください。

初期化についての詳細は各 OS のヘルプやマニュアルをご参照ください。

※この画面は一例です。実際に画面に表示されるディスクの数やディスク情報はお使いの環境によって異なります。

液晶パネルの操作方法

ディスクや本体の状態によってステータスランプの表示パターンが変わります。
◀/▶ボタンによって値を選択し、Enter ボタンで実行、Esc ボタンでキャンセルします。画面にボタンの指示がある場合はそれに従ってください。

